

日本精化(株)加古川東工場

環境保全対策実施報告書

1. 環境保全対策実施状況（平成30年度）

(1) 大気汚染に係る対策

推進の内容	実施の成果
①ボイラーの適正な燃焼管理	①日常点検、定期整備及び2ヶ月毎の排ガス測定による適正な維持管理を行い、窒素酸化物排出量の協定値を遵守しました。また、効率的な運転により燃料消費を低減し大気汚染防止を推進しました。ボイラー更新（燃料転換：A重油⇒都市ガス）による本年度二酸化炭素排出量は2,108 t/年削減となりました。
②定期パトロール実施によるスチームロス削減	②定期パトロールにより29箇所の不良箇所を発見し改修しました。
③スチーム使用量削減による燃料使用量の削減	③29箇所の不良トラップ交換による放熱ロスの削減により、17.5千m ³ の都市ガス使用量を削減し、CO2排出量を39.3t/年削減致しました。

(2) 騒音、振動に係る対策

推進の内容	実施の成果
①ポンプ・モーター等の定期点検整備実施	①ポンプ・モーターの定期点検整備を行い、装置が常に良好な状態で稼動する様注力し、騒音の協定値を遵守しました。また、排水処理設備の曝気ポンプを防音室に設置することで騒音発生を低減を図りました。（写真①）
②定期騒音測定実施による保全維持	②協定に基づく定期的な騒音測定を行い、場内外での騒音レベルを把握し、安定的な保全維持ができました。

(写真①)



防音室に設置したブローポンプ



防音室壁の防音材

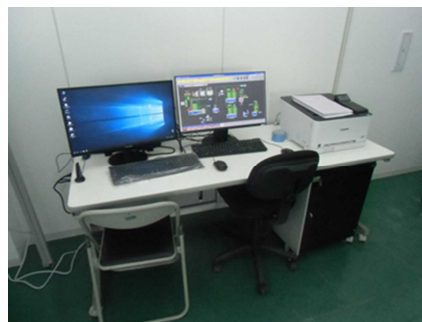
(3) 悪臭に係る対策

推進の内容	実施の成果
①定期的悪臭測定実施による保全維持	①1回/月の外部分析による管理を継続し良好な状態を確認しています。
②定期的パトロール実施による臭気管理維持	②1回/日の臭気パトロールを継続して実行しました。社内管理基準（臭気度数）に注力し状況把握と早期対応に努めました。
★ ③廃水処理場老朽化改修による環境改善検討	③平成30年度に廃水処理施設の一部更新を行い安定的な稼働による臭気発生抑制を図りました。 また、コンピューターによる運転管理により環境への負荷とリスクを低減しました。 (写真②)
④脱臭炉老朽化更新による環境負荷の低減	④平成30年度に脱臭焼却炉の更新を行い、悪臭拡散防止と環境負荷低減に努めました。 (写真③)

(写真②)



更新した排水処理施設



コンピューターによる排水管理

(写真③)



更新した脱臭焼却炉

(4) 産業廃棄物に係る対策

推進の内容	実施の成果
① 法令順守及び適正処理の徹底	①マニフェスト管理の効率的かつ精度向上を図り法令順守を強化するとともに、特別管理産業廃棄物については、平成31年4月より電子マニフェスト化を進めております。 また、産業廃棄物置場の適正保管に注力し法令を順守しました。
②リサイクル化(再資源化・再利用)及び有価物化の推進	②廃棄物の再資源化及び再利用化を推進し廃棄物の発生量削減を図りました。 廃溶剤については、約654KLの再資源化を実現いたしました。
③自社処理活動推進による外部への廃水排出量削減	③自社廃水処理設備にて処理可能な工程廃水約547 tを処理し、廃棄物廃水の排出量を削減しました。

(5) 緑化に係る対策

推進の内容	実施の成果
①『緑の募金』自販機設置による緑化推進	①『緑の募金』活動により、当年度まで累計で杉苗木1,776本相当、CO ₂ 換算24.8 tの吸収効果が得られました。
② 工場周辺の緑地化推進	③ 工場周辺のフェンス整備の際に緑地整備と夾竹桃の剪定を推進しました。 (写真④)
③事務用品に関わるグリーン購入	③事業所内で使用する事務用品の積極的なグリーン購入を実行しました。

(写真④)



フェンス整備に伴う緑地整備



工場周り夾竹桃の剪定

(6) 地域連絡会

推進の内容	実施の成果
① 地域住民代表との定期的な意見、情報交換	① 地域住民代表者と年2回の定期的な意見及び情報交換を実施し、円滑なコミュニケーション構築に努めました。
② 近隣企業との周辺地域の合同清掃参加	② 6月に近隣企業との周辺地域の合同清掃を実施しました。

(7) その他

推進の内容	実施の成果
① ISO14001の維持	① 2018.3月に更新審査(2015年版への移行)を終了し、環境マネジメントシステム運用により法順守と自主的な環境負荷低減に努めています。
② 内部監査	② 定期的な内部監査を行い、適切な企業活動の推進を実行しました。
③ 燃料削減活動の更なる推進	③ 生産に見合ったボイラーの切替運転を行い、効率的な生産活動により不必要な燃料消費を削減しました。
④ 効率的な工場稼働の推進	④ 効率的な設備の導入を推進しました。 (写真⑤) ア. 高効率変圧器に更新し、年間14.8千Kwhの電力と7.3tのCO2を削減しました。 イ. 研究室のエアコンを省電力タイプに更新し、年間3千Kwhの電力と1.5tのCO2を削減しました。
★ ⑤ 省エネルギー活動の推進	⑤ LED照明への更新を推進しました。 (写真⑥) ア. 精密化学品工場に防爆型LED照明設置 イ. 場内歩道橋の防犯灯をLED照明に更新 ウ. 屋外設備にLED照明設置 エ. 反応槽透視灯にLED照明設置 ※ LED照明への積極的な更新により、年間10.4千Kwhの電力と5.2tのCO2を削減しました。

(写真⑤)



ア. 高効率変圧器に更新

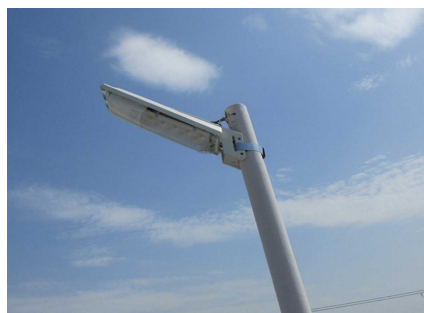


イ. 省電力エアコンに更新

(写真⑥)



ア. 防爆型水銀灯のLED化



イ. 歩道橋 防犯灯のLED化



ウ. 工場照明のLED化



エ. 反応槽透視灯のLED化

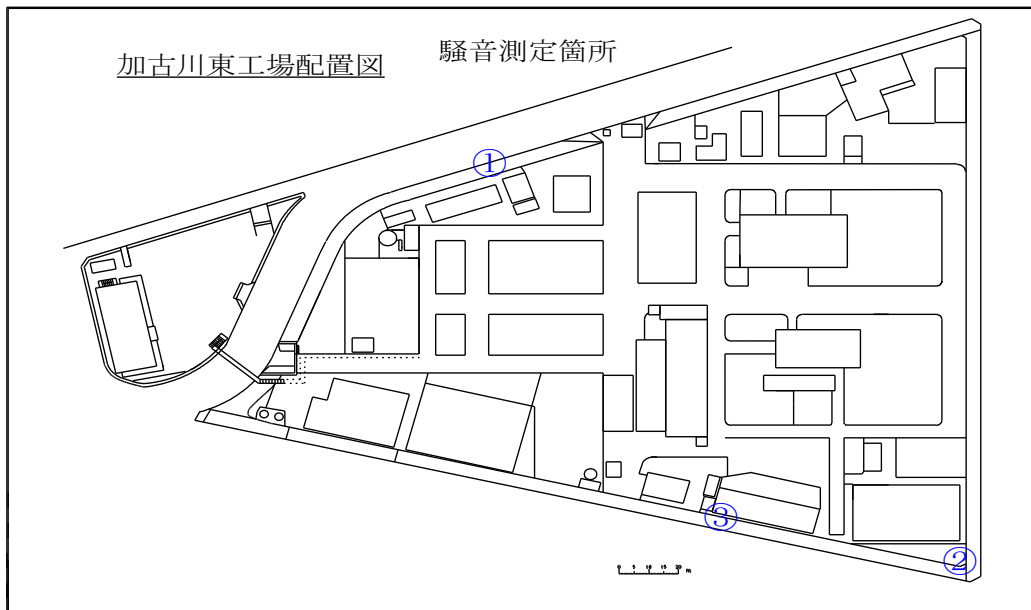
2. 協定値と実績値の比較

(1) 大気関係

(実績値：最大値または年間総排出量)

項	目	協定値	実績値
窒素酸化物排出量	(Nm ³ /時)	3.6	0.4
	(t/年)	25.7	4.7

3. 事業所地図及び騒音測定地点



4. 環境保全活動

(1) 令和元年度（平成31年度）基本方針

項目	内容
基本方針	<p>①当社に係る環境関連法令を正しく理解・遵守し、当社内外の環境に著しい影響を及ぼさない生産活動を行なう。</p> <p>②環境に負荷となる化学物質は、製品の製造工程においてその使用を禁止・制限・低減し、環境に配慮した製品を提供する。</p> <p>③具体的な対象、目標、期間を定め、計画的に省エネルギー活動、省資源活動、及び産業廃棄物発生量の削減活動を行う。</p> <p>④悪臭（排水臭、原料臭、生産活動に伴う不快臭）の発生抑制及び拡散低減を行い、近隣住民に迷惑をかけない。</p>
組織体制	<p>(公害防止組織に準ずる)</p> <div style="text-align: center;"> <pre> graph TD A[公害防止統括者] --- B[産業廃棄物管理者] A --- C[騒音公害防止管理者] A --- D[水質公害防止管理者] A --- E[大気公害防止管理者] </pre> </div>

(2) 令和元年度（平成31年度）環境保全活動計画

環境保全活動	目標	目標達成のための計画、方策
自動車公害対策	NOx排出量削減	<p>① 自動車通勤者の削減推進</p> <p>② 社用車及び入場車輛のアイドリングストップ活動の推進</p>
化学物質対策	化学物質漏洩防止	<p>① PCB機器の適正保管と処理推進</p> <p>② PRTR法による化学物質排出量の把握</p>
エネルギー対策 (地球温暖化に係る対策)	燃料使用量削減及び電力使用量削減	<p>① 燃料削減活動の更なる推進</p> <p>② 効率的な工場稼働の推進</p> <p>③ 省エネルギー活動の推進</p>
廃棄物対策	廃棄物排出量の抑制	<p>① 法令順守及び適正処理の徹底</p> <p>② リサイクル化（再資源・再利用）及び有価物化の推進</p> <p>③ 自社処理活動推進による外部への廃水排出量削減</p>

不法投棄に係る対策	最終処分先の再確認	① 廃棄物業者に対しての査察強化とマニフェスト管理の徹底 ② 電子マニフェスト化の推進
緑化に係る対策	森林植樹活動の推進と緑地、樹木の維持管理	① 『緑の募金』自販機設置による緑化推進 ② 工場周辺低木の維持管理
グリーン購入	グリーン購入の推進	① 事務用品のグリーン購入推進
環境マネジメントシステム	環境マネジメントシステム(EMS)に則った活動推進	① ISO14001の維持 ② 内部監査 ③ EMS委員会の開催
環境教育	環境保全教育の推進	① 環境保全(EMS含む)に関する教育 ② 週間環境整備活動実施による環境意識高揚
地域社会への参画	地域社会との相互理解強化と環境保全活動への参加	① 地域住民代表者との定期的な意見・情報交換 ② 近隣企業との周辺地域の合同清掃参加
環境コミュニケーション	環境情報の開示	① 加古川市ホームページでの環境報告書の公開
★ 周辺環境に影響を与えるおそれのある事故等発生時の地元への広報等	加古川市作成の広報等対応マニュアル遵守と迅速な広報対応	① 加古川市作成の広報等対応マニュアルに沿った対応 ② ホームページや説明会による迅速な広報対応